

2010年10月6日 速報

# 湘南の先輩がノーベル賞受賞！！



## 概要

有機亜鉛化合物と有機ハロゲン化物とをパラジウムまたはニッケル触媒のもとに縮合させ C-C 結合生成物を得る根岸カップリングを発見。この業績により、鈴木章、リチャード・ヘックと共に、2010年10月6日にノーベル化学賞を受賞した。

## 略歴

1935年、満州国新京（現在の中国吉林省長春）にて誕生。

1953年に湘南高校を卒業。（湘南高校28回生）

1958年に東京大学を卒業し、帝人に入社。

1963年、ペンシルバニア大学で博士号取得

（A・R・デイ教授）。

1966年、パデュー大学で博士研究員

（ハーバート・C・ブラウン教授）。

1968年、パデュー大学助教授。

1972年、シラキュース大学助教授。

1979年、同教授。

1979年、パデュー大学教授。

根岸カップリング（ねぎしカップリング、Negishi coupling）

とは、有機合成化学におけるクロスカップリング反応のひとつ

で、有機亜鉛化合物と有機ハロゲン化物とをパラジウムまたはニッケル触媒のもとに縮合させ C-C 結合生成物を得る手法。1977年に根岸英一らにより最初の報告がなされた。根岸はこの反応の発見により2010年ノーベル化学賞を受賞した。



亜鉛上の有機基はアリール、アルケニル、アルキニル基など、有機ハロゲン化合物はハロゲン化アリール、アルケニル、アリルなどが主に用いられる。触媒はもっぱらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)などのパラジウム触媒が用いられる。

